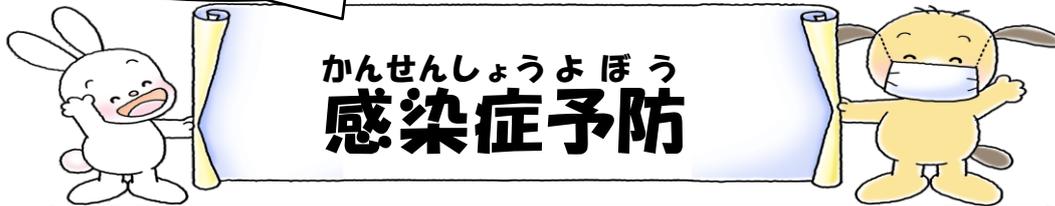


ほけんだより～学校再開号～

令和2年5月29日
世田谷区立祖師谷小学校
校長 篠原 和也
養護教諭 佐藤 彩香

ながながやすお がっこう はじ ひさ きょうしつ ひさ ともだち
長い長いお休みが終わり、学校が始まります。久しぶりの教室、久しぶりの友達、
せんせい…わくわくしますね。すこすこ がっこう せいかつ
先生…わくわくしますね。少しずつ学校の生活になれていきましょう。みんなが元気に
す ひとり よぼう こころ
過ごすために一人ひとりが予防を心がけていきましょう。

みんなで取り組む



けんこうかんさつ 健康観察



まいあさ けんこうかんさつ
毎朝、健康観察をする。
かぜをひいている時は休む。
けんこうかんさつひょう ていしゅつ
健康観察表を提出する。

てあらい 手洗い



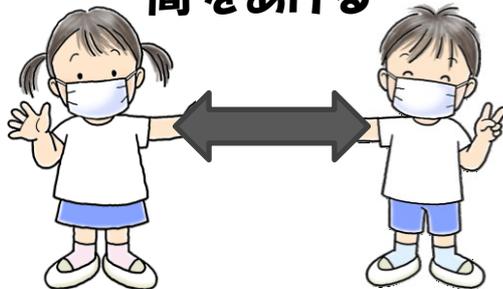
きょうしつ もど とき あと
教室へ戻る時、トイレの後、
はなをかんだ時、共用の物を
さわるまえ あと せつ
さわる前と後などに石けんで
てあらい
手洗いをして、ハンカチでふく。

マスク



はなやあごが出ないように
つける。マスクをさわらな
い。たいいく はず
体育などで外すときは、
ふくろに入れる。

あいだ 間をあける



ともだち あいだ
友達と1～2m間をあける。
とく あそ かいわ
特に遊ぶときや会話するとき、
ならぶときなど気を付ける。

りょく たか めんえき力を高める



りょく びょうき ちから
めんえき力（病気とたたかう力）を
たか
高めるためには、

- ①早くねる
- ②好ききらいしないで食べる
- ③運動する

学校での取り組み

学校では、感染のリスクを減らすために文部科学省や世田谷区教育委員会の示すガイドラインを参考に以下の取り組みを行います。

- 席の間隔を最低1m確保します。
- 常に窓を2方向開けて、換気します。
- 多くの児童が触れる場所は、1日1回以上消毒を行います。
- 近距離での会話や発声、身体の接近、接触を伴う授業は当面の間行いません。
- 全教職員が健康観察・検温をして出勤します。
- 健康観察、手洗い、マスク着用、身体的距離の確保、運動・食事・休養及び睡眠の調和のとれた生活について指導します。

感染予防に関するお願い

〈健康観察〉

毎朝、お子さんの検温・健康観察をして、「健康観察表」の記入をお願いします。登校時に確認しますので、忘れずに持たせてください。風邪症状がある場合（〇がつくとき）や発熱があるときは「出席停止」になります。「一時的な発熱であり、かつ主治医や保健所からの特段の指示がなく、解熱後に他の症状がなくなるまで。また、軽度な症状で、病院で受診していない場合は、症状が治まるまで」は、出席停止となります。

〈感染が疑われる場合について〉

お子さんや同居する家族などに新型コロナウイルス感染が強く疑われる場合（①～③）は、状況が判明するまでは、無理をせずに自宅で休養（出席停止）させてください。また、状況が判明したら、速やかに学校へご連絡ください。

- ※①自身がPCR検査の対象となった場合
- ②自身や同居する家族などがPCR検査の対象となった場合
- ③保健所から濃厚接触者として特定された場合

〈早退について〉

頭痛や腹痛などの風邪の症状がある場合や発熱があるときは、お迎えにきていただきます。また、世田谷区教育委員会ガイドラインより、新型コロナウイルス感染症と熱中症の症状の区別がつきにくいいため、熱中症が疑われる場合は、熱中症の処置をして軽快しても早退となります。日中、何かあった時に学校からの連絡が取れるようご理解とご協力をお願いします。

〈マスクとハンカチについて〉

マスクを着用して登校するようお願いいたします。また、手洗い後には、ハンカチで拭くように指導しております。ハンカチの持参・ハンカチを身に付けられるようなポケット等の工夫をお願いいたします。予備のマスクやハンカチをランドセルに入れておいてください。

〈水筒の持参について〉

水飲み場の混雑回避と感染予防のために毎日、水筒の持参をお願いします。

〈新型コロナウイルスについての相談窓口〉

詳しくは、世田谷区HP「新型コロナウイルス感染症に関する世田谷保健所からの重要なお知らせ」をご覧ください。

世田谷区帰国者・接触者電話相談センター

電話 03-5432-2910 (平日8:30~17:15)

※土日休日・平日夜間の相談は、

東京都新型コロナ患者相談センター 電話 03-5320-4592

※一般的な新型コロナウイルスに関する相談窓口は、

世田谷区新型コロナウイルス相談窓口 電話03-5432-2111

FAX 03-5432-3022

○少なくとも以下のいずれかに該当する場合は、すぐに相談してください。

(これらに該当しない場合の相談も可能)

- ・息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合。
- ・重症化しやすい方で発熱や咳などの比較的軽い症状が続く場合。
- ・上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い症状が続く場合（症状が4日以上続く場合には必ず相談。症状には個人差があるので強い症状と思う場合にはすぐに相談。解熱剤を飲み続けなければならない場合も同様）。

○なお、小児については、小児科による診察が望ましいため、かかりつけ小児医療機関に電話などで相談のこと。